

カラマツ種子の確保に向けた取組

令和2年8月24日

吾妻森林管理署管内にある田代第1採種園（群馬県吾妻郡嬭恋村）はカラマツ精英樹採種園です。今年6月11日に、この採種園において着花促進のための環状剥皮処理を実施しました。これは、平成30年3月に吾妻森林管理署、群馬県林業試験場、森林総合研究所林木育種センターの3機関で田代第1採種園におけるカラマツ種子の安定的な生産体制を確立することを目的に締結した協定による取組の一環です。作業には、関東森林管理局8名、吾妻森林管理署9名、群馬県林業試験場2名、森林総合研究所林木育種センター3名の計22名が参加しました。木材チョークで剥皮部位に印を付け、剥皮鎌やノコギリなどを用いて採種木19本に剥皮処理を行いました。作業当日は、直前に天候が急変し、土砂降りの中で作業となりましたが、来年の種子豊作を期待しながら作業を行い、無事に終わることができました。今後も継続的に環状剥皮処理を実施するため、採種園内を処理区と樹勢回復区の複数の区域に分け、今後毎年順次区域ごとに剥皮処理を実施する予定です。

また、6月25日には同採種園において着果調査を行いました。調査方法は平成31年3月に発行した「カラマツ種苗安定供給のための技術開発」（森林総合研究所林木育種センターホームページ <https://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/documents/karamatu0327.pdf>）による「着花／着果調査及び豊凶の判定方法」により行いました。調査には、関東森林管理局4名、吾妻森林管理署5名、群馬県林政課3名、森林総合研究所林木育種センター3名の計15名が参加し、調査を行いました。双眼鏡で幼球果を探したところ、母樹ごとに幼球果が1、2個見つかる程度で、今秋の採種は見込めない状況ですが、来年度以降環状剥皮の効果が現れることを期待しています。



環状剥皮



着果調査

（指導課）